

# 天心が託した 国宝の未来

Niiro Chunosuke

## —新納忠之介、仏像修理への道

12月9日[土]～令和6年2月12日[月・振]



新納忠之介「一字金輪坐像(模造)」  
明治30年(1897) 東京国立博物館蔵  
出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)

### 【展覧会概要】 (資料2～3ページ参照)

新納忠之介 (1869-1954) は、東京美術学校を優秀な成績で卒業し、岡倉天心の強い勧めにより、文化財の修理に生涯を捧げた人物です。明治31 (1898) 年、岡倉天心が創設した日本美術院に参加後、多くの仏像修理に携わり、天心の推進した文化財保護行政の一翼を担いました。また、天心没後には、日本美術院の国宝修理部門が「美術院」と改称して独立し、新納はその中心を担いました。

それまで確立した修理法が無かった仏像修理において、新納は試行錯誤を重ね、現状維持を基本とする新たな修理法を確立させました。その技術は今日まで引き継がれています。

本展覧会では、修理図面や研究ノート、書簡といった新納忠之介旧蔵資料の他、新納が模刻した仏像等の彫刻作品も展示します。これらの品を通して、天心の目指す文化財保存の道をひたすらに歩んだ新納の業績を紹介します。

#### 《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:宮本 夢花(みやもと ゆめか) / 広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

1 展覧会名 企画展「天心が託した国宝の未来—新納忠之介、仏像修理への道」

2 会 期 令和5年12月9日 [土] ～令和6年2月12日 [月・振]  
休 館 日：月曜日、（1月8日 [月・祝]、2月12日は開館）、12月29日～1月1日、1月9日  
開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

3 会 場  
茨城県天心記念五浦美術館 展示室 A

4 主催等  
茨城県天心記念五浦美術館 協力：公益財団法人ポーラ美術振興財団

5 入館料  
一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円  
※( )内は、20名以上の団体料金  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方  
および付添いの方1名は無料  
※土曜日は高校生以下無料

6 出品数  
資料 約60点

7 主な出品作品・資料 制作年順

作者不詳	〈東大寺伎楽面模刻（崑崙）〉	明治25年頃(1892)	東京藝術大学蔵
新納忠之介	〈東大寺伎楽面写生（崑崙）〉	明治25-31年頃(c. 1892-98)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
新納忠之介	〈寿老人額〉	明治27年(1894)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
新納忠之介	〈一字金輪坐像（模造）〉	明治30年(1897)	東京国立博物館蔵
新納忠之介旧蔵	「百済観音図解及寸法書」	昭和7年(1932)	茨城県天心記念五浦美術館蔵
新納忠之介	〈春日巫女〉	制作年不詳	茨城大学五浦美術文化研究所蔵
新納忠之介	〈法隆寺五重塔内「羅漢像」模刻〉	制作年不詳	茨城大学五浦美術文化研究所蔵
岡倉天心・水木要太郎	「葉書・新納忠之介宛」	執筆年不詳	茨城県天心記念五浦美術館蔵

## 8 新納忠之介 略年譜

- 明治元年 11月25日 (1869年1月7日)、鹿児島市に生まれる。
- 明治27 (1894)年 東京美術学校(現・東京藝術大学)彫刻科本科卒業。
- 明治28 (1895)年 東京美術学校助教授となる。
- 明治30 (1897)年 校命により中尊寺の修理主任となる。
- 明治31 (1898)年 岡倉天心の辞職に伴い、東京美術学校助教授を辞す。  
岡倉天心の創設した日本美術院に参加。
- 明治42 (1909)年 米国ボストン美術館に派遣され、同館で仏像修理にあたる。
- 大正3 (1914)年 日本美術院より国宝修理部門が独立し、「美術院」と改称。院長となる。
- 大正8 (1919)年 宮内省帝室博物館学芸委員になり、正倉院の調査研究に当たる。
- 昭和29 (1954)年 逝去。勲四等瑞宝章を授与される。

## 9 本展のみどころ

- (1) 新納忠之介〈一字金輪坐像(模造)〉(東京国立博物館蔵)を展示します。その原品は岩手県中尊寺に伝わり、美しい彩色から「人肌の大日」とも称される平安後期の仏像(秘仏)です。新納の卓越した技術により、正確無比に模造された優美な姿をぜひご覧ください。
- (2) 新納が描いた伎楽面の写生を多数展示します。仏像修復の第一人者として知られる新納による、伎楽面の写生は珍しく貴重な資料です。東京美術学校に所蔵されていた東大寺伎楽面模刻と合わせて展示しますので、立体の模刻と平面の写生とを見比べてお楽しみください。
- (3) 新発見の岡倉天心の書簡を二通展示します。一通は、新納による一字金輪坐像の模刻を見た水木要太郎(1865-1938)が、その感想を新納に宛てて送った葉書に、天心も「御全盛の嚆致居候」と書き添えているもの(年月日不詳)、もう一通は奈良にいる新納に、天心の同地来訪を知らせるもの(1911(明治44)年9月17日)です。天心をはじめ、新納と交友のあった人物たちにも、展覧会を通してご注目ください。
- (4) 当館では、平成26年度に新納忠之介の旧蔵資料約2,300点の寄贈を受け、資料目録の発行や岡倉天心記念室でのテーマ展示等で紹介してきましたが、それらをまとめて展示する企画展として初めての機会であり、東日本でも初となる新納忠之介の個展です。

## 10 広報文

- (1) 新納忠之介(1869-1954)は、東京美術学校を優秀な成績で卒業し、岡倉天心の強い勧めにより、文化財の修理に生涯を捧げた人物です。1898(明治31)年、岡倉天心が創設した日本美術院に参加後、多くの仏像修理に携わり、天心の推進した文化財保護行政の一翼を担いました。また、天心没後には、日本美術院の国宝修理部門が「美術院」と改称して独立し、新納はその中心を担いました。  
それまで確立した修理法が無かった仏像修理において、新納は試行錯誤を重ね、現状維持を基本とする新たな修理法を確立させました。その技術は今日まで引き継がれています。  
本展覧会では、修理図面や研究ノート、書簡といった新納忠之介旧蔵資料の他、新納が模刻した仏像等の彫刻作品も展示します。これらの品を通して、天心の目指す文化財保存の道をひたすらに歩んだ新納の業績を紹介します。(352字)
- (2) 新納忠之介(1869-1954)は、岡倉天心が創設した日本美術院に参加後、多くの仏像修理に携わり、天心の文化財保護行政に貢献しました。また、天心没後には奈良に置かれた「美術院」の中心として活躍し、その一生を文化財の修理に捧げました。  
新納が確立した近代的な仏像修理法は、今日まで引き継がれています。この展覧会では、修理図面や書簡などの新納忠之介旧蔵資料の他、新納が模刻した仏像などを展示し、その業績を紹介します。(205字)
- (3) 新納忠之介(1869-1954)は岡倉天心による文化財保護の一翼を担い、近代的な仏像修理法を確立した人物。その旧蔵資料から、新発見の天心からの手紙をはじめ、仏像の修理や模造関係の資料を展示し、新納の業績を紹介します。(108字)

## 11 会期中のイベント

当館HPにて内容の詳細、申込期間をご確認のうえお申込ください。

※各イベントは日時、内容等変更になる場合があります。

### (1) 講演会「天心に命を預けた彫刻家 新納忠之介」

- ・講師：中田智則（茨城県近代美術館 企画課長）
- ・日時：1月13日[土] 13時30分～（約90分）
- ・会場：講堂 ※要企画展チケット
- ・定員：先着114名

### (2) 展覧会担当によるギャラリートーク

展覧会の見どころについて、会場内で解説いたします。

- ・日時：1月20日[土]、2月4日[日] 各日13時30分～（約30分）
- ・会場：企画展示室 ※要企画展チケット

### (3) 大笑い！五浦寄席

- ・日時：12月17日[日] 11時～、14時～（約50分）
- ・出演：二松亭ちゃん平(社会人落語家)、相模亭とげ蔵(社会人落語家)
- ・会場：講堂
- ・定員：各回114名 ※要企画展チケット

### (4) 新春邦楽コンサート

- ・日時：1月6日[土] 11時～、14時～
- ・出演：長谷由香<sup>ながたに</sup>(箏)、助演：清原<sup>はる</sup>晏(箏)
- ・会場：エントランスロビー
- ・定員：各回約100名 ※要企画展チケット

### (5) 茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート

- ・日時：2月3日[土] 第1部 11時～11時25分、第2部 11時35分～12時
- ・出演：茨城県警察音楽隊  
北茨城市立磯原中学校吹奏楽部(第1部のみ)
- ・会場：エントランスロビー

### (6) 映画会

- 12月10日[日]：「クリスマス・キャロル」(1977年/60分/カラー/イギリス)
- 1月14日[日]：「雨に唄えば」(1952年/102分/カラー/アメリカ)
- 2月11日[日]：「宇宙戦争」(1953年/85分/カラー/アメリカ)
- ・上映時刻 各日9時45分～、13時30分～
- ・会場：講堂
- ・定員：各回114名 ※当日受付先着順・事前予約も可

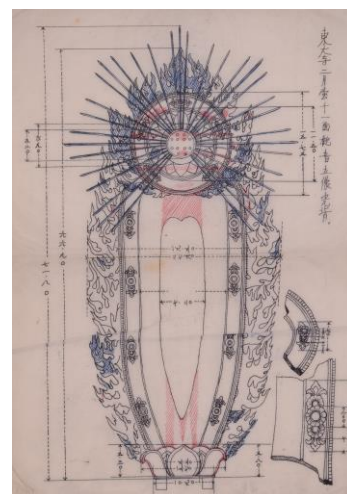
【広報用図版】 ※表紙の「一字金輪坐像(模造)」も提供可能です。



「ボストン美術館修理所にて愛染明王像と  
写る新納忠之介」明治42-43年(1909-10)  
茨城県天心記念五浦美術館蔵



新納忠之介「伎楽面写生(崑崙)」  
明治25-31年頃(c.1892-98)  
茨城県天心記念五浦美術館蔵



「修理図解 東大寺二月堂」  
昭和10-24年(1935-49)  
茨城県天心記念五浦美術館蔵



新納忠之介「春日巫女」  
制作年不詳  
茨城大学五浦美術文化  
研究所蔵



新納忠之介「寿老人類」  
明治27年(1894)  
茨城県天心記念五浦美術館蔵



新納忠之介「法隆寺五重塔内  
『羅漢像』模刻」制作年不詳  
茨城大学五浦美術文化研究所蔵



「東大寺より袈裟拝領時の新納」  
昭和10年(1935)  
茨城県天心記念五浦美術館蔵

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
- ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・図版はデータでの提供となります。

広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL: 0293-46-5311 FAX: 0293-46-5711

E-mail: [kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp](mailto:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp)

展覧会担当: 宮本 夢花 / 広報担当: 大津 友美

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。



当館HPへ